



女子団体追い抜きで滑走する(左から)高木美、佐藤、高木菜。2分50秒87の世界新記録で優勝した8日、米ユタ州ソルトレークシティ(時事)

W杯追い抜き また世界新

美帆けん引 大差で圧勝

先頭で3周半 新作戦奏功 3秒更新

【ソルトレークシティ(米国)】スピードスケートのワールドカップ(W杯)第4戦、ソルトレークシティ大会第1日は8日、米ユタ州ソルトレークシティで行われ、女子団体追い抜きの日本は高木美帆(白樺学園高)、高木菜那(日本電産サンキョー)同高木美帆(白樺学園高)と、姉の菜那(日本電産サンキョー)同高木美帆(白樺学園高)で臨み、2分50秒87の世界新記録で優勝した。2位は2分55秒57のオランダ。日本は2日のW杯第3戦のカルガリ大会でマークした2分53秒88を3秒01更新し、今季出場した3戦全てを世界記録で制した。

勝を14に伸ばし、通算15勝(米国)と合わせて17勝目となった。郷里重砂(イヨテツ山梨学院大)白樺学園高出が37秒17で3位となり、カルガリ大会に続く通算3度目の表彰台に立った。神谷理那(高堂建設)が9位、辻麻希(西病院)は10位だった。

男子5000は羽賀亮平(日本電産サンキョー)日本電産サンキョー、一戸誠太郎(信州大、中村奨太(ロジネットジャパン)は3分37秒08の日本新記録で4位。カナダが3分36秒44で2位となった加藤条治(博)が3分36秒44で2位となった。

郷が3度目表彰台

女子500 小平36秒50 日本新



W杯第4戦、女子500mで3位の郷里重砂=8日、米ユタ州ソルトレークシティ(時事)

5周で先頭を滑った高木美帆(白樺学園高)は、メンバの体調の問題などが原因で、チームの作戦として3・5周を引張ったのは初めてだ。目標としていた2分52秒8台をほぼ2秒上回る好記録となったが、「タイムを見て喜べるほどの余力が残っていない」と言う。

世界新にあと一歩。▽スピードの出やすいリンクで、女子5000の出やすい、平昌五輪に向けて弾みのつく勝利となった。それでも、高木美帆は「この舞台はオリンピックではないので、(他のチームの)全員がここに懸けているわけではない。安心できるとか、自信になるといふのはない」と言う。

(4位以下関係分、Bクラスは関係外)
【男子】◇5000は①アレックス・ボワベルラク(カナダ) 34秒15②ミカ・ボウラ(フランス) 34秒17③ロナルド・ムルダ(オランダ) 34秒20④羽賀亮平(日本電産サンキョー) 34秒21⑤山中大(白樺学園高) 34秒55⑥山中大(電産) 34秒77▽Bクラス⑦加藤条治(博) 36秒50⑧坂本永吉(みどりクリック) 35秒09⑨後藤卓也(福)

井奥体協 日大、帯農高出 35秒59
◇団体追い抜き①カナダ 3分36秒44②イタリア 3分36秒54③ニュージーランド 3分36秒79④日本(ウイリアムソン) 3分37秒08⑤日本(白樺学園高) 3分37秒08⑥日本(村岡) 3分37秒08⑦日本(信州大) 3分37秒08⑧日本(信州大) 3分37秒08⑨日本(信州大) 3分37秒08⑩日本(信州大) 3分37秒08

梨学院大、白樺学園高出 37秒17⑩神谷理那(高堂建設) 37秒54⑪辻麻希(西病院) 37秒60⑫曾我なみ(ホテル東日本) 38秒05
◇団体追い抜き①日本(高木美帆) 2分50秒87②世界新(オランダ) 2分50秒87③ドイツ 2分56秒14

世界新にあと一歩 小平
▽スピードの出やすいリンクで、女子5000の出やすい、平昌五輪に向けて弾みのつく勝利となった。それでも、高木美帆は「この舞台はオリンピックではないので、(他のチームの)全員がここに懸けているわけではない。安心できるとか、自信になるといふのはない」と言う。

世界新にあと一歩 小平
▽スピードの出やすいリンクで、女子5000の出やすい、平昌五輪に向けて弾みのつく勝利となった。それでも、高木美帆は「この舞台はオリンピックではないので、(他のチームの)全員がここに懸けているわけではない。安心できるとか、自信になるといふのはない」と言う。



W杯第4戦、女子500mで優勝し、メダルを手にする小平奈緒(中央)。右は3位の郷里重砂=8日、米ユタ州ソルトレークシティ(時事)

を掛けられるという。「当たり前のように、期待してもらえないのはなかなかない」。9日の5000mにも大きな期待がかかる。